

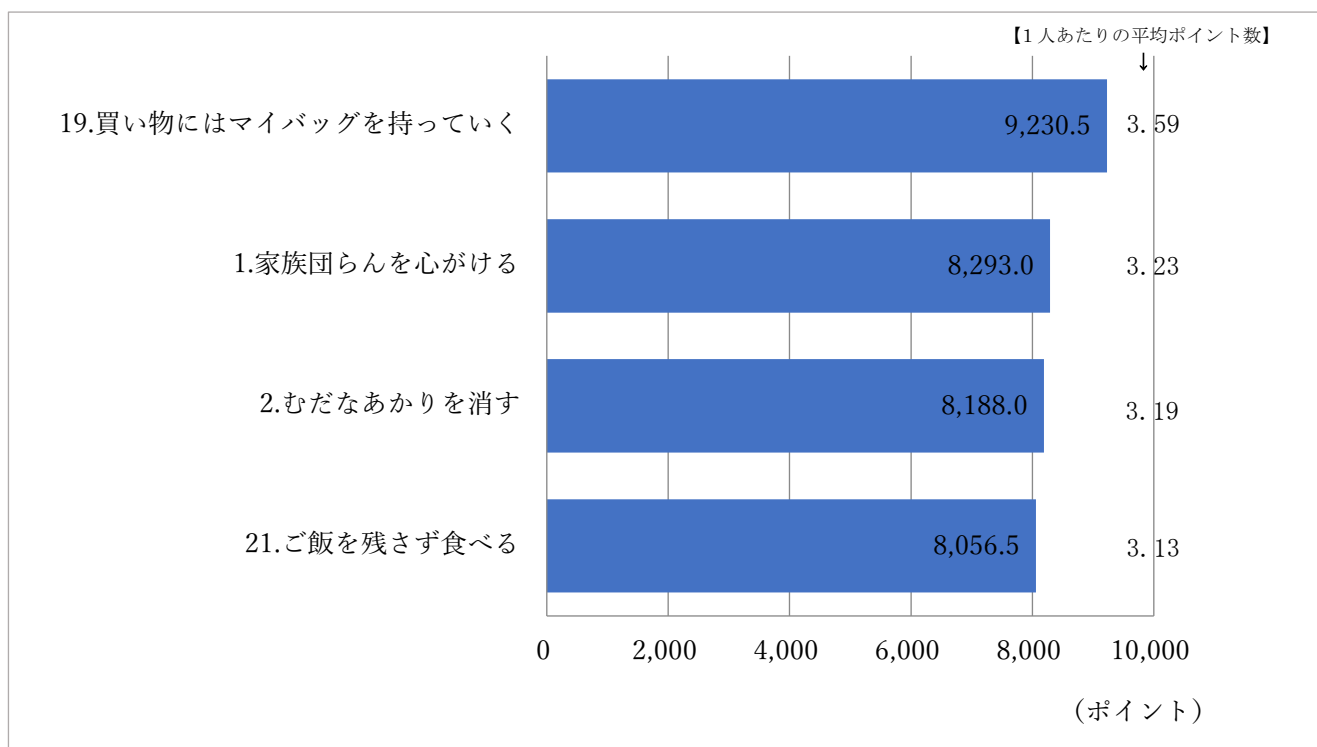
Ⅲ. 事業の結果

1. 参加校及び参加児童数

- ◇ 参加校 … 63校
- ◇ 参加児童数 … 3,038人
- ◇ とりくみノート提出児童数 … 2,570人 (84.6%)

2. 「かならずチャレンジ」がんばり度ランキング (ポイント制)

がんばり度ランキングは、「かならずチャレンジ」の4項目の取組みを、1週間当たり「よくできた」を1ポイント、「まあまあできた」を0.5ポイント「できなかった」を0ポイントとして、4週間分の取組みをがんばり度として表したものであり、その結果は次のとおりであった。



※ グラフは、とりくみノート提出児童分 (2,570人) を集計したものである。

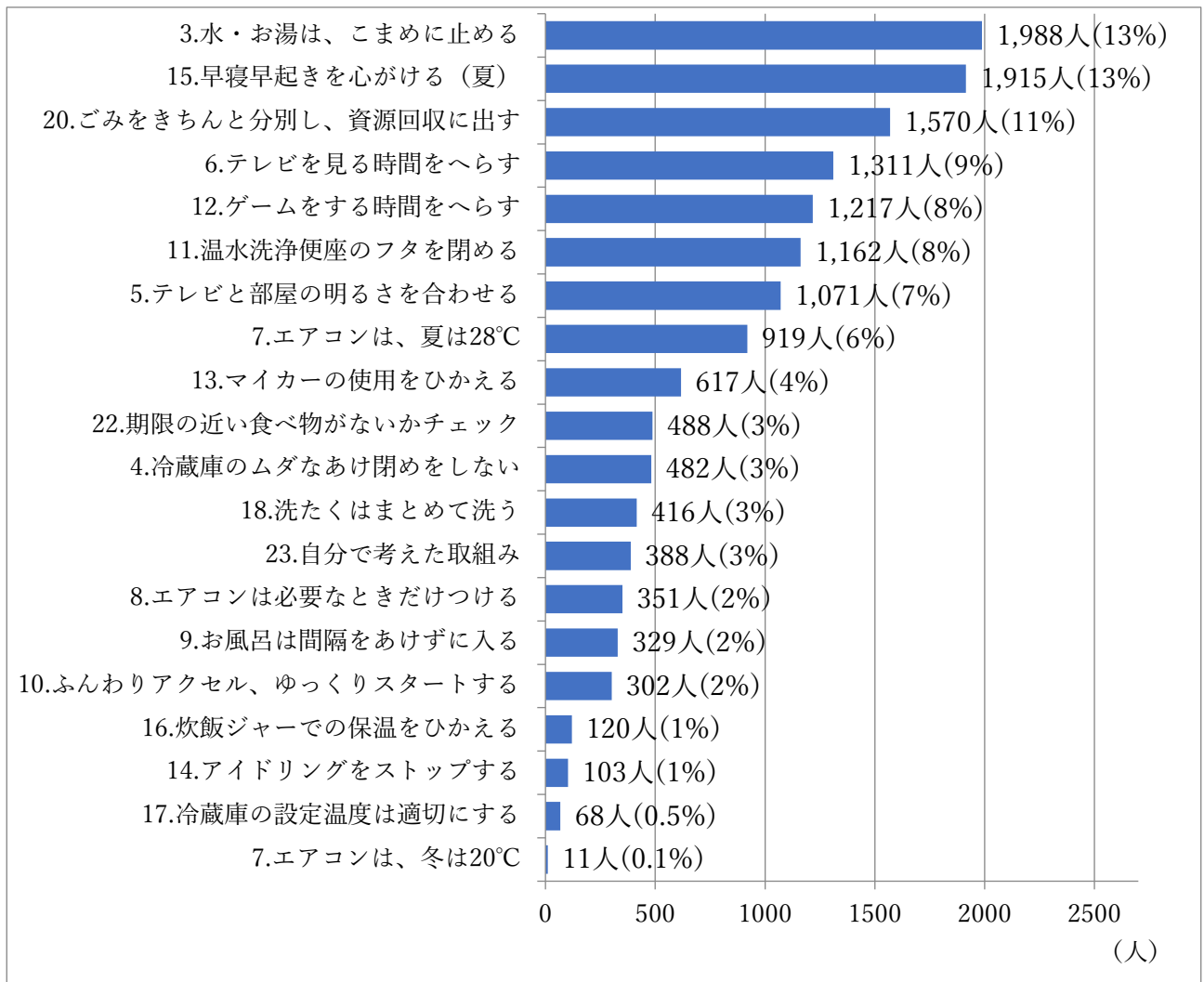
とりくみノート提出児童2,570人が全員「よくできた」だった場合に得られる最大ポイントは10,280ポイントとなる。

今年度は必須取組みである「かならずチャレンジ」を昨年同様4項目とした。

全体を通して、1項目に対する1人当たりのがんばりポイントが約3ポイントであったことから (1ポイント×4週=最大4ポイント)、各家庭においてしっかりとチャレンジ10に取り組んでいたことが。

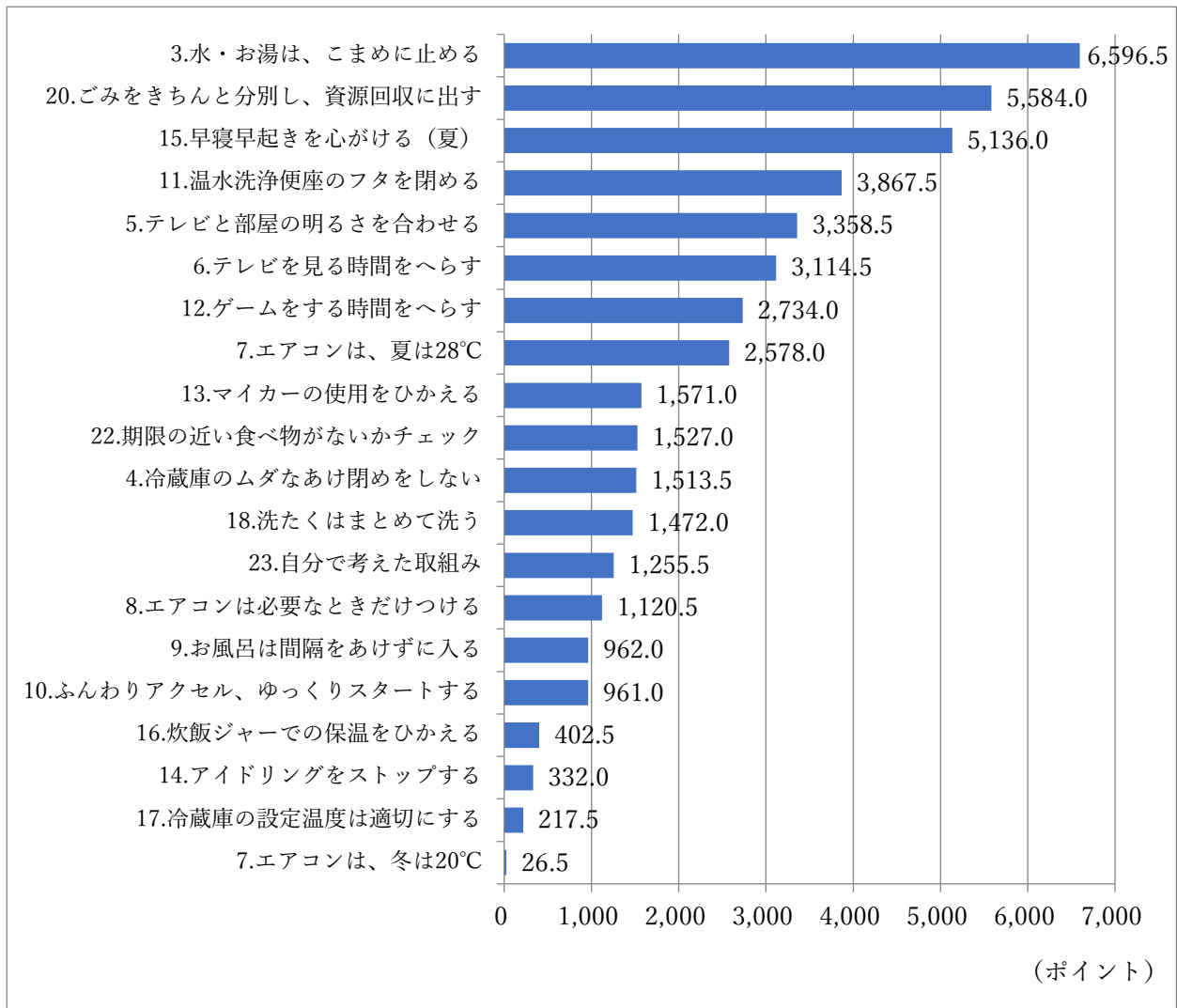
3. 「えらんでチャレンジ」がんばり度ランキング（ポイント制）

「えらんでチャレンジ」は、「かならずチャレンジ」の4項目のほかに児童が自ら6項目を選択するものである。各取組みの人数は次のとおりであった。



「水・お湯は、こまめに止める」が最も多くなっている。次に多かったものが「早寝早起きを心がける」で、夜間の余分な電気を消すことで温暖化防止につながるとともに、夏休みの生活習慣にも良い影響を与えたと考えられる。

児童が選択した取組みを「かならずチャレンジ」がんばり度ランキング(ポイント制)と同様に集計し、ランキング化したところ、その結果は次のとおりであった。



ポイントランキングでは「水・お湯は、こまめに止める」がトップで、次は「ごみをきちんと分別し、資源回収に出す」であった。

なお、各取組み項目に対する1人当たりのがんばりポイントは、以下のとおりであった（1ポイント×4週＝最大4ポイント）。

取組例 の番号	実践した取組み	がんばり ポイント	取組みを選択 した人数	1人あたりの がんばり ポイント
		(4週間分) A	B	(4週間分) X=A/B
かならず	1 家族団らんを心がける	8,293.0	* 2,570	3.23
	2 ムダなあかりを消す	8,188.0	* 2,570	3.19
	19 買い物にはマイバッグを持っていく	9,230.5	* 2,570	3.59
	21 ご飯を残さず食べる	8,056.5	* 2,570	3.13
えらんで	3 水・お湯は、こまめに止める	6,596.5	1,988	3.32
	4 冷蔵庫のムダなあけ閉めをしない	1,513.5	482	3.14
	5 テレビと部屋の明るさを合わせる	3,358.5	1,071	3.14
	6 テレビを見る時間をへらす	3,114.5	1,311	2.38
	7 エアコンは、夏は28℃	2,578.0	919	2.81
	7 エアコンは、冬は20℃	26.5	11	2.41
	8 エアコンは必要なときだけつける	1,120.5	351	3.19
	9 お風呂は間隔をあけずに入る	962.0	329	2.92
	10 ふんわりアクセル、ゆっくりスタートする	961.0	302	3.18
	11 温水洗浄便座のフタを閉める	3,867.5	1,162	3.33
	12 ゲームをする時間をへらす	2,734.0	1,217	2.25
	13 マイカーの使用をひかえる	1,571.0	617	2.55
	14 アイドリングをストップする	332.0	103	3.22
	15 早寝早起きを心がける（夏）	5,136.0	1,915	2.68
	16 炊飯ジャーでの保温をひかえる	402.5	120	3.35
	17 冷蔵庫の設定温度は適切にする	217.5	68	3.20
	18 洗たくはまとめて洗う	1,472.0	416	3.54
	20 ごみをきちんと分別し、資源回収に出す	5,584.0	1,570	3.56
	22 期限の近い食べ物がないかチェック	1,527.0	488	3.13
23 自分で考えた取組み	1,255.5	388	3.24	
			平均	3.07

* とりくみノート提出児童数 2,570人

1人当たりのがんばりポイントは、全ての取組みで2ポイント以上であることから、各家庭においてしっかりとチャレンジ10に取り組んでいたことが伺える。

また、各取組みの平均は3.07であることから、しっかりと取り組んでいたことが伺える。

4. 取組み効果の推計

取組み結果から取組み期間において削減できた二酸化炭素排出量の推計及び節約額の推計は次のとおりであった。

- ◇ 二酸化炭素(CO₂)排出量 : 約80トンの削減
 ※25mプール80個分の体積に相当

$$\left(\begin{array}{l} \text{CO}_2 \text{ 1トンの体積: } 509 \text{ m}^3 \\ \text{25mプール} \quad \quad \quad \uparrow \\ \text{25m} \times \text{12.5m} \times \text{1.5m} = 468 \text{ m}^3 \end{array} \right)$$
- ◇ 節約額 : 約732万円の節約

効果の推計結果

	がんばり ポイント 順位	取組例 の番号	実践した取組み	がんばり ポイント	1週間の削減効果			効果の推計	
				(4週間分)	CO ₂ (kg)	金額 (円)	CO ₂ (kg)	金額 (円)	
				A	B	C	X=A×B	Y=A×C	
かならず	1	19	買い物にはマイバッグを持っていく	9,230.5	0.427	35	3,941	323,068	
	2	1	家族団らんを心がける	8,293.0	4.564	196	37,849	1,625,428	
	3	2	ムダなあかりを消す	8,188.0	0.182	7	1,490	57,316	
	4	21	ご飯を残さず食べる	8,056.5	0.259	294	2,087	2,368,611	
なるべく	1	3	水・お湯は、こまめに止める	6,596.5	0.553	63	3,648	415,580	
	2	20	ごみをきちんと分別し、資源回収に出す	5,584.0	0.812	0	4,534	*1 0	
	3	15	早寝早起きを心がける(夏)	5,136.0	1.631	77	8,377	395,472	
	4	11	温水洗浄便座のフタを閉める	3,867.5	0.329	21	1,272	81,218	
	5	5	テレビと部屋の明るさを合わせる	3,358.5	0.252	14	846	47,019	
	6	6	テレビを見る時間をへらす	3,114.5	0.154	7	480	21,802	
	7	12	ゲームをする時間をへらす	2,734.0	0.210	21	574	57,414	
	8	7	エアコンは、夏は28℃	2,578.0	0.924	49	2,382	126,322	
	9	13	マイカーの使用をひかえる	1,571.0	2.961	182	4,652	285,922	
	10	22	期限の近い食べ物がないかチェック	1,527.0	0.546	630	834	962,010	
	11	4	冷蔵庫のムダなあけ閉めをしない	1,513.5	0.098	7	148	10,595	
	12	18	洗たくはまとめて洗う	1,472.0	0.056	84	82	123,648	
	13	23	自分で考えた取組み	1,255.5	0	0	*1 0	*1 0	
	14	8	エアコンは必要なときだけつける	1,120.5	0.574	35	643	39,218	
	15	9	お風呂は間隔をあけずに入る	962.0	1.645	119	1,582	114,478	
	16	10	ふんわりアクセル、ゆっくりスタートする	961.0	3.724	231	3,579	221,991	
	17	16	炊飯ジャーでの保温をひかえる	402.5	0.868	49	349	19,723	
	18	14	アイドリングをストップする	332.0	0.770	49	256	16,268	
	19	17	冷蔵庫の設定温度は適切にする	217.5	0.574	35	125	7,613	
	20	7	エアコンは、冬は20℃	26.5	1.071	56	28	1,484	
合計							79,758	7,322,200	
児童1人当たり *2							31	2,849	

※X、Yは小数点以下四捨五入

*1 削減効果の数値データがないため未計算

*2 全ての合計÷とりくみノート提出児童数(2,570人)

※削減効果の数値：環境省「身近な温暖化対策」、(財)省エネルギーセンター「家庭の省エネ百科」等

5. 児童が考えた取組み

児童が考えた「独自の取組み」の主なものは次のとおりであった。

- ・ドライヤーをする前にタオルドライをする。
- ・日中はカーテンを開けて、あかりをあまり付けない。
- ・雨水を貯めて、庭にまく水に使う。
- ・えんぴつや紙を大切に使う。
- ・使用していない電源プラグをぬく。
- ・商品を買うときは手前からとる。
- ・賞味期限が近いものから食べる。
- ・水筒を持ち歩く。
- ・スマートフォン、タブレット、PCの使用時間を減らす。
- ・食べられる量だけ食材を買う。
- ・テイクアウトの時、割りばしをもらわない。
- ・できるだけ暑いときはカーテンをしめる。
- ・冷蔵庫の扉を開けっ放しにしない。

6. 工夫したこと

家庭での取組み実践中には様々な工夫が行われており、その主なものは次のとおりであった。

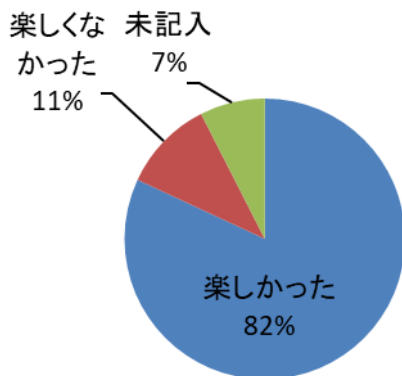
- ・誰もいない部屋は電気を消すよう声をかけるようにした。
- ・自分の食べられる量を考えて食べた。
- ・部屋の温度を見つつ、エアコンをつけるようにした。
- ・出かける時に電気を消したかをみんなでチェックをした。
- ・私がお風呂から上がった家族に声をかけて、出来るだけ間隔を開けないようにした。
- ・家族で一週間ずつどれだけできたかを発表して、だめなところを声をかけるようになった。
- ・目当てを守れているか、毎日確認した。
- ・みんなでご飯を食べるために家族が帰ってくる時間を合わせている。
- ・紙をむだに使わないようにした。
- ・外が明るいときはカーテンを開け、電気を消す。
- ・近いお店には車ではなく歩いて行きました。
- ・おやつ時間にたくさん食べないようにした。
- ・コンビニなどに行くと、期限が近いものを買っている。
- ・ゲームやテレビの時間を減らし、運動する時間を増やした。
- ・エアコンをあまり付けずに、窓などを開けて過ごした。
- ・目立つところにとりくみノートを置いて意識できるようにした。
- ・マイバッグを家に置き忘れたとき用に、車に予備を置いておいた。
- ・節電や節水と呼び掛けるポスターを作って貼った。
- ・冷蔵庫のとびらを開ける時間を短くするために、置き場所をわかりやすく工夫した。
- ・家族団らんを心がけるために、同じ部屋で、今日あった出来事を話すようにした。

7. 事後アンケート結果

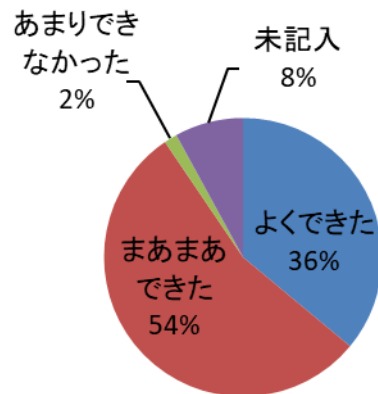
参加した児童、家族及び学校に対して、地球温暖化問題に対する意識や取組みについてアンケートを行ったところ、結果は次のとおりであった。

(1) 児童（回答数：2,570人）

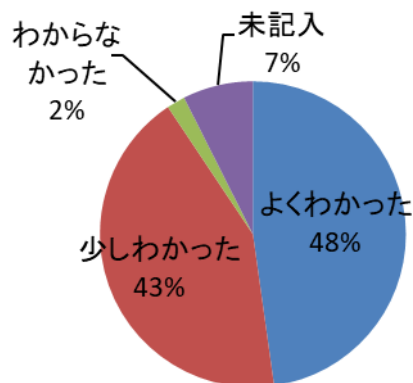
①とやま環境チャレンジ10は楽しかったですか？



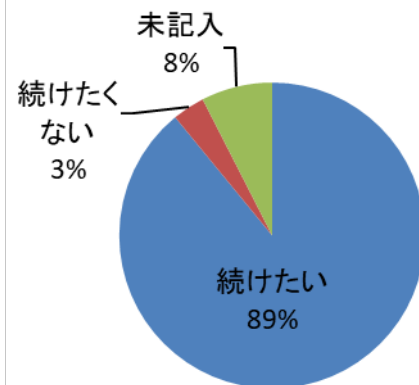
②選んだ取組みは、4週間よくできましたか？



③地球温暖化はどのような問題わかりましたか？



④これからも地球温暖化をとめるための取組みを続けていきますか？

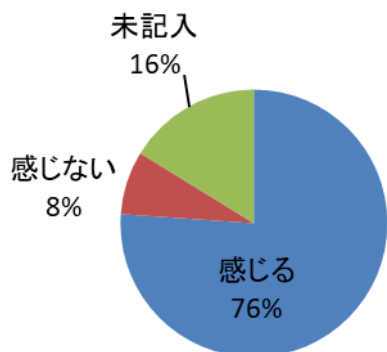


⑤感想やこれからがんばりたいこと、もっとしりたいことなどを書いてください。

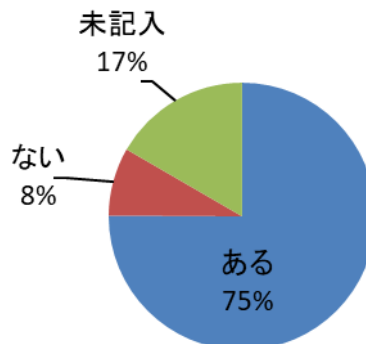
- ・最初はあまりできていなかったけど、最後はちゃんとできたので良かったです。
- ・早寝早起きができるよう、少しずつ規則正しい生活になるようにしたい。
- ・シャワーのお湯を出しっぱなしにしないようにがんばりたいです。
- ・今年も日本のあちこちで大雨の被害がありました。暑い日も多かったです。地球温暖化を本気で防止するために、これからも取組みを続けていきたいです。
- ・あまり地球温暖化のことを知らなかったので、これからもっと知れるようにしたいです。
- ・大人になって生活が不便になるのはいやなので、これからも続けたい。
- ・地球温暖化がなぜ始まったのか知りたいです。
- ・これからも、冷蔵庫の開け閉めは短くするなどの工夫をしていきたいです。
- ・これからも新しい取組みに挑戦して頑張っていきたいです。
- ・環境や節約のために、エアコンの温度に気を付けたり、テレビのつけっぱなしをやめたりと、家族で声をかけ合って工夫をすることができ、良い機会になった。
- ・地球温暖化は地球にどんな影響があるのかももっと知りたい。
- ・いつからごみが多くなったか知りたい。
- ・プラスチックがどれだけ環境に悪いか、もっと知りたいです。
- ・日ごろの過ごし方にもむだなことがあったと気づき、それをしないようにしようと心がけるようになりました。
- ・他にどこから二酸化炭素が出るのか知りたい。
- ・地球温暖化がこのままずっと続くとどうなるのか知りたいです。
- ・日常生活の中で、このようなことを当たり前のようにできるようになりたい。
- ・ごみを出さないためにも、余計な物を買わないことが大切だと思いました。
- ・お出かけするときに自分の部屋の電気を消しわすれることがあるからがんばりたい。
- ・他の国ではどのような取組みをしているのか気になった。
- ・どうしたら二酸化炭素をもっとへらすことができるか知りたいし、これからも取組みをがんばりたい。
- ・私は地球温暖化について知り、大変だなと思いました。自分でできることは進んでやりたいなと思いました。
- ・いつもごみをすてる時に、家族に「どこに捨てるの？」と聞いているので、自分でごみの分別をできるようになりたいです。
- ・「できなかった」シールの数を0にして、もっとそのことに工夫してがんばっていきたいです。
- ・今までは気にせず暮らしていたけど、これからはもっと心がけていきたいなと思いました。
- ・いつもしていることが地球温暖化防止に役立っていたから驚いた。
- ・地球温暖化が進まないよう、いろいろな取組みをしっかりとしていきたい。
- ・家族で協力して、環境チャレンジができて楽しかった。
- ・「よくできた」シールが多く、家族と協力してたくさん取り組めたのでうれしかった。
- ・気を緩めると、また前みたいになってしまうので、気を付けたい。
- ・どの県が一番二酸化炭素を出しているのか知りたい。

(2) 家族 (回答数 : 2,570 人)

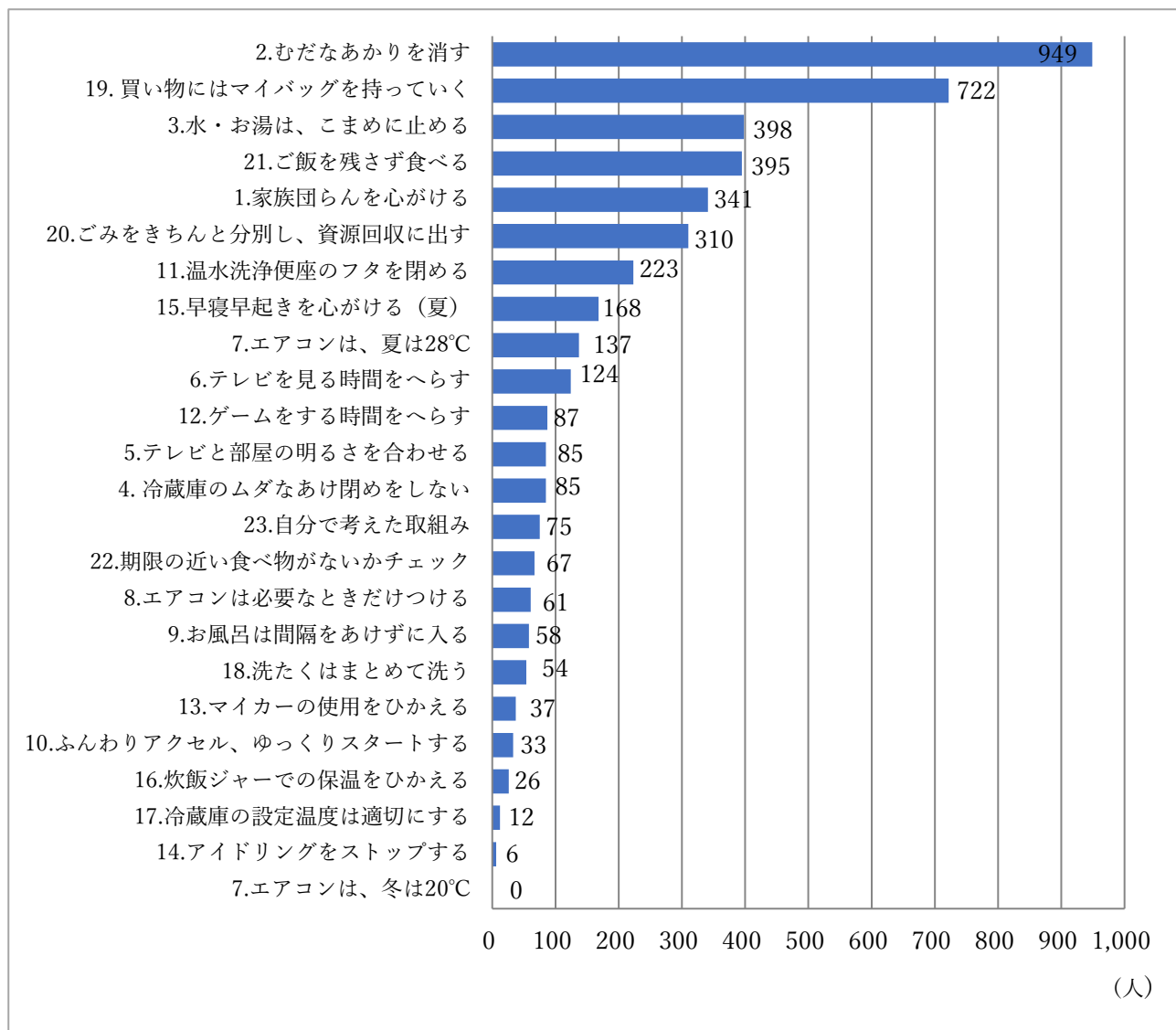
①地球温暖化に対する意識は高まったと思いますか？



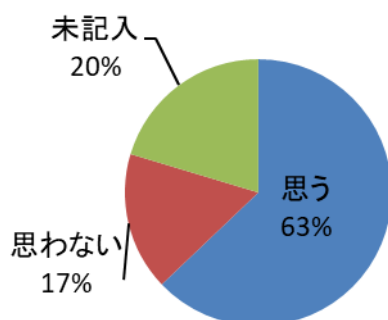
②習慣化した取組みがありますか？



③取組みのある場合、その取組みはどれですか？



④チャレンジ10の取組みにより、家計の節約になったと思いますか？



⑤感想や意見をご記入ください。

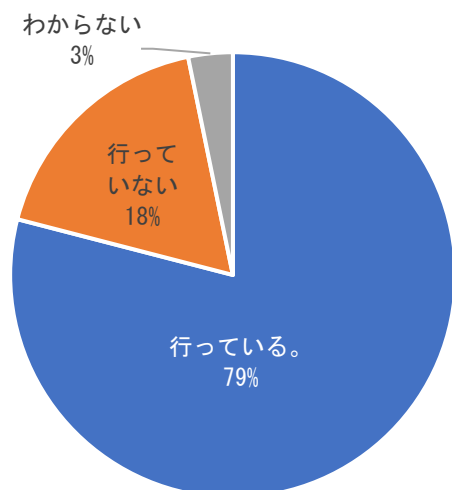
- ・ちょっとした心がけで二酸化炭素の量を減らし、地球温暖化を防ぐことができると改めて思った。
- ・ごみの分別に協力してもらい、ごみを出したら、しっかり自分で捨てるように責任を持ってもらうようにできた。
- ・意識せずとも、当たり前前に環境活動ができるようになるといいと思います。
- ・いつもは好きなお菓子を食べていて、ご飯を残すことがあったので、お菓子の量をへらして、ご飯を残さず食べられるようにしました。
- ・自分の行動が地球温暖化防止につながっていくことに気が付いたようで、今後も意識して取り組みたい。
- ・飲んだペットボトルは飲んだ本人がすぐに洗って片付けた。
- ・テレビのニュースを、興味をもって自分から観るようになった。
- ・以前までは外出のとき、のどが渴けばコンビニや自動販売機を利用していましたが、チャレンジ10で考えるようになり、水筒を持ち歩き、ペットボトルやごみを減らすよう工夫しました。
- ・今まで忘れがちだったエコバッグ持参ですが、出かける前に「エコバッグ持った？」と子供も声をかけてくれるようになり、忘れることが減りました。
- ・夏休みの終わりには習慣化していたので、ステキなことだと思った。
- ・エアコンは必要最低限の時につけるようにしました。家族で1つの部屋に集まり、エアコンをつけるようにしました。
- ・子供でも手軽に取り組める内容なもの、SDGsに興味を示すポイントだと感じました。
- ・日差しが多く当たるところにあさがおやゴーヤを植えて日かげを作り、温度を下げるようにした。
- ・冷蔵庫の残り物（硬くなってしまったご飯や消費期限が近いものを中心に）で、一緒に料理をしながら、食品ロスについて、子供と話ができ、良かった。
- ・普段なかなか忘れがちなことを、チャレンジ10のおかげで、親子で意識して取り組めて、結果省エネにつながったので良かったです。
- ・必要以上に食品を買わないことを気を付けました。余ることで、廃棄することが増えるという悪循環が発生することを実感しました。

- ・お風呂に間隔を空けずに入るという取組みは、割と簡単にできることなのに、二酸化炭素を大きく削減できることを知りました。節約にもなるので、今後も継続していきたいです。
- ・あたり前に水や電気があり、なに不自由なく生活させていただいていることを再認識できた。
- ・子供が主体となって家族に声かけすることにより、本人も環境に気を付けるようになったと思う。
- ・とりくみ例に、1日で減らすことができる二酸化炭素やお金の目安が書かれていたので、具体的に意識できました。
- ・マイバッグの習慣づけのため、子供達に好きなマイバッグをプレゼントしたところ大切に使ってくれている。
- ・子供たちのほうから環境を意識した発言が多くあり、私たち家族も良い意識につながりました。
- ・日常生活で取り入れやすい取組みが多く、これからも続けていきたいと思いました。
- ・マイカーの使用を控えることは体を動かすことにもつながったので、一石二鳥だった。これからも意識していきたい。
- ・温暖化について家族で話すきっかけができ、環境について考えることができた。
- ・水や電気はいつでも好きな時に好きなだけ使える環境のなかで、これらが大切な資源だと伝える、いい機会となりました。
- ・家族全員が一緒になって、目標に向けて取り組めたことが良い経験になりました。
- ・普段の生活とチャレンジ 10 を比べて、これまでどおりでいいことや変化が必要なことがわかり、改めて考え直しました。
- ・電気はお金で買っているということを意識してもらえるようになった。
- ・リサイクルやごみの分別、省エネなど、日頃からしていることを改めて子供に話をしました。
- ・食事中はテレビを消して「みんなで今日の出来事」を話しながら食事することをやっていたが、とても楽しい時間でした。
- ・家族団らんを心がけることによって、むだな電気を消すことができ、さらに、家族とのコミュニケーションをとる時間が増え、良かったと思います。
- ・とりくみノートを目立つところにマグネットでとめておいて、内容がすぐに目につくようにした。すぐに確認できるので、取り組みやすかった。
- ・大人の方が特に気にせず生活していることが多く、子供に言われハッとすることが多かった。
- ・今まで大人が心がけていたことを子供も意識するようになったことは良いと思います。
- ・きれいなものも頑張って食べていた。
- ・「地球のために今できることをする」とか「地球のために毎日少しだけ我慢する」など、今回の取組みで学んだことを忘れないで暮らしていくことが大事だと感じました。
- ・地球温暖化の資料が分かりやすかった。富山県の現状が具体的に理解でき、対策がとれると思った。
- ・ラジオ体操出席を目標に、早寝早起きをしていました。えらい!!
- ・身近で取り組みやすそうなことを考え、できると思ったことに取り組むようにした。

(3) 小学校 (回答数 : 62 校)

①地球温暖化や環境問題に関する授業について

ア. 貴校では小学1～4年生の間で、とやま環境チャレンジ10以外で地球温暖化や環境問題に関する授業を行っていますか。



イ. アで「行っている」と答えた学校にお聞きします。教科名及び地球温暖化や環境問題について児童が学んでいる内容を教えてください。

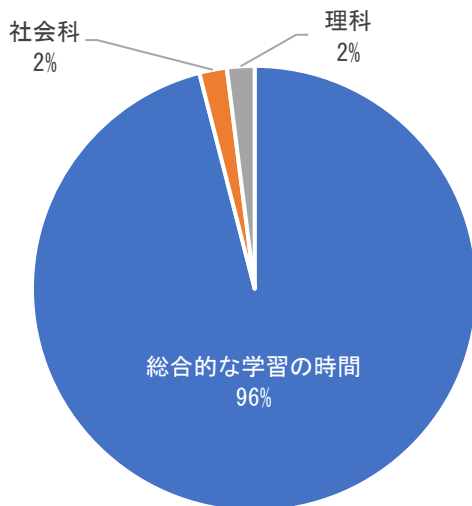
主な回答

学年	教科 (内容)
1～6年	総合的な学習の時間 (SDGsのお宝を見つけよう)
1年	生活科 (生物多様性について) 生活科 (学校の周りや校庭等の環境について調べる、知る)
2年	生活科 (自分が住む町の人、物、場所、環境について) 生活科 (学校の周りや校区の環境について調べる、学ぶ)
3・4年	総合的な学習の時間 (地域の自然を守る)
3年	総合的な学習の時間 (地球の一員としてできることを見つけよう) 総合的な学習の時間 (食品ロスについて～スーパーマーケットの見学から～) 総合的な学習の時間 (校区の環境について調べる、知る)
4年	総合的な学習の時間 (地球温暖化が自分たちにもたらす影響についてなど) 総合的な学習の時間 (SDGsについて興味がある項目を調べ、新聞を作り、発表する) 総合的な学習の時間 (地球の未来に目を向けよう) 総合的な学習の時間 (海面上昇、気候変動、地球温暖化による感染症など) 総合的な学習の時間 (環境調査隊として温室効果ガスや気候変動について調べている)

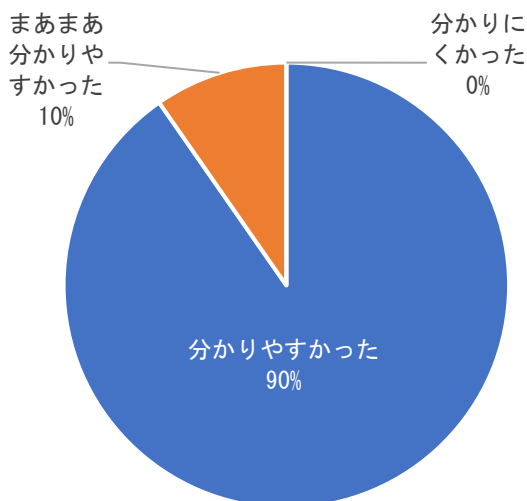
学年	教科（内容）
	総合的な学習の時間（学校における地球温暖化問題） 総合的な学習の時間（ぼく・わたしの環境アップ大作戦） 社会科（ごみの処理と利用） 社会科（水はどこから） 社会科（廃棄物の処理問題）
5年	社会科（環境を守るわたしたち） 家庭科（3Rの取組みについて） 社会科（環境を意識した車づくり） 社会科（食品ロス）
6年	理科（人と環境） 社会科（国際問題：海洋ごみ）
その他	P T A活動（地下道のごみ清掃）

②とやま環境チャレンジ10について

ア. とやま環境チャレンジ10はどの時間を活用して実施されましたか。



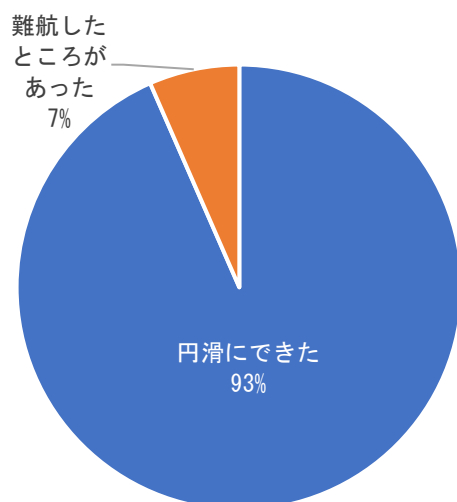
イ. 授業で活用するために配布した、副読本「地球温暖化を止めるため 家族みんなでチャレンジ!」の内容についてご意見をお聞かせ下さい。



ウ. 副読本「地球温暖化を止めるため 家族みんなでチャレンジ!」について、ご意見があればお聞かせください。

- ・子供に分かりやすい内容で、大変学習に生かすことができました。
- ・子供たちには難しい漢字にはふりがながあり、また写真や表で視的にもとても読みやすい。
- ・地球温暖化はとても大きな問題だけれども、一人一人がこの問題に取り組む大事さを理解できるよう、取り組んでいけるように作られていた。
- ・具体的な取組みが書いてあるため、家庭でも取り組みやすい。
- ・二酸化炭素をサッカーボール何個分で表していて視覚化できている。そのボール何個で地球温暖化をどれくらい防ぐのかが具体的に書いてあれば、取組みを更に意欲的にできるかも。
- ・取り組みやすい内容になっていたと思います。家族と一緒に取り組むことで、みんなで取り組んでいくという意識を子供たちにもたせることができました。
- ・具体的な取組紹介と、CO₂量をボールの個数で表している点が児童の興味や理解を深めた。
- ・地球温暖化防止の取組み例が掲載されていて、児童も保護者も取り組みやすかった。
- ・それぞれの取組みがどれだけの効果があるのか分かりやすくてよかった
- ・夏休みに持ち帰る際、1枚だけなくしてしまった子などがいた。1枚もしくは1冊にまとまっていると、なくすことが減るのではないかと思う。もちろん、なくさず大切に組みんでいくことはこちらで指導していきたい。
- ・図とイラスト付きでわかりやすかったです。
- ・他教科との関連が欠かせない取組みだと思った。

エ. 地球温暖化防止活動推進員との事前の打ち合わせは円滑にできましたか。



オ. エについて、具体的にお聞かせください。

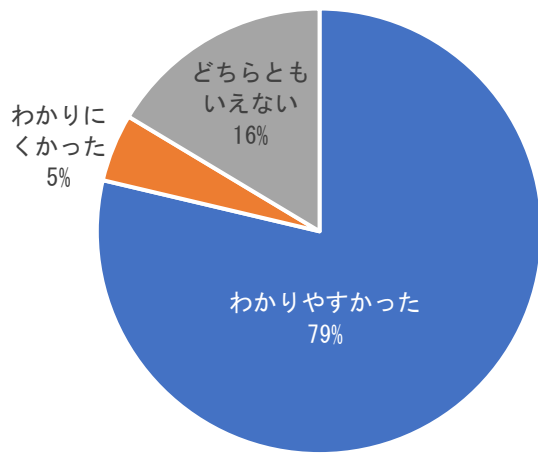
<円滑にできた>

- ・メールで打ち合わせ日時を決め、その際に必要な準備物等をはっきりさせることができた。
- ・学校に来ていただき、会場の視察や ICT 機器の動作確認を行った。また、準備物のリストアップをした。
- ・当日の流れや準備物等を事前に教えていただいたので、スムーズに進行することができた。
- ・内容や進め方などの案をメールで分かりやすく伝えてくださり、助かりました。
- ・事務局から資料をいただいていたので、打ち合わせの内容が事前に把握でき、円滑な打ち合わせができた。
- ・地球温暖化防止活動推進員の主導で進めていただいたのでありがたかった。
- ・前期の授業は、学習参観をかねて行った。早い段階から、1時間の学習展開や準備物等、打ち合わせることができた。
- ・推進員の方がこちらの意向や学級の実態をよく聞いてくださったのでよかった。
- ・事前に学校にきてくださり、進め方等を打ち合わせできた。こちらの要望を聞いて講演に使うスライドを直してくださり、ありがたかった。
- ・行事やほかの教科とも関連させたいという、こちらの要望等も聞いていただけた。
- ・授業前に来校していただき、現在の学習進度と照らし合わせながら、当日の授業について打合せした。授業で使うパワーポイントを見せていただき、何を中心に話していただくか相談できた。

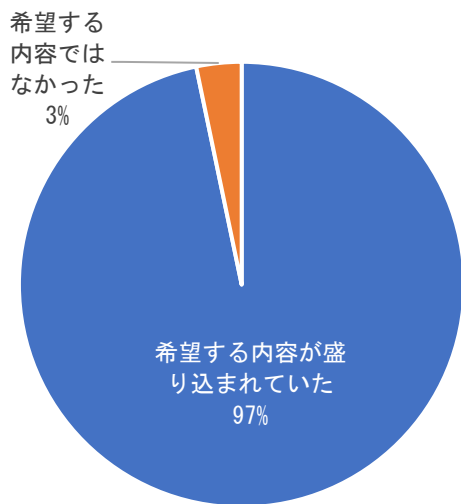
<難航したところがあった>

- ・直前になって、連絡が取れなくなり本部の方に迷惑をかけてしまった
- ・さらに、綿密な打ち合わせ（ねらいの確認や役割分担）が必要だと感じた。

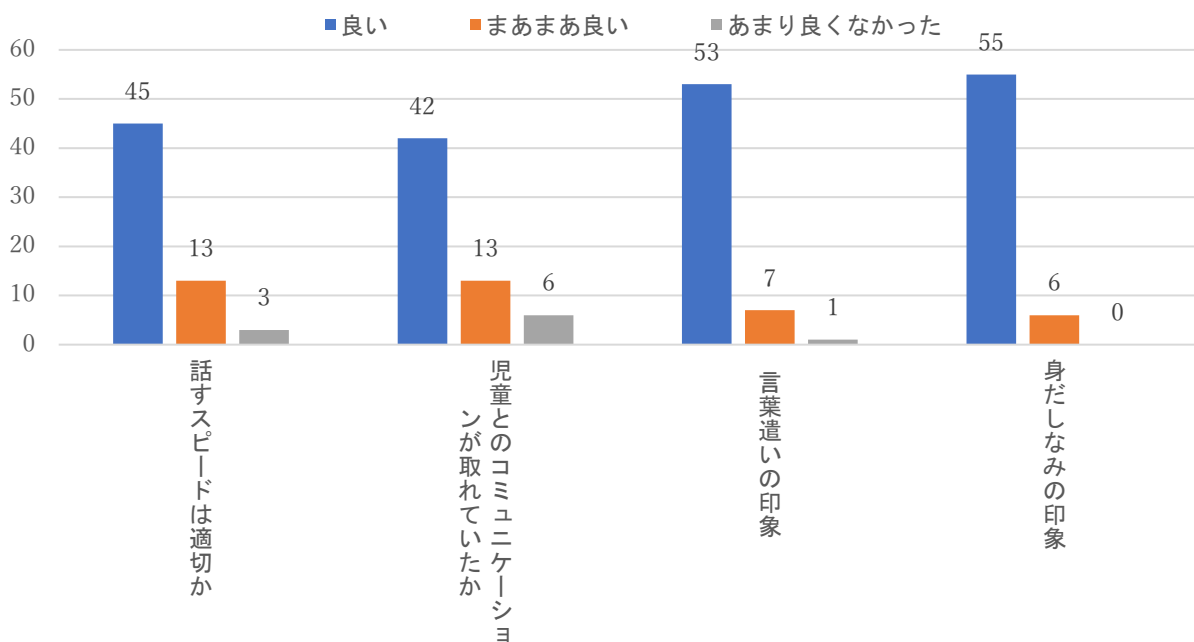
カ. 授業はわかりやすかったですか。



キ. 授業の内容はいかがでしたか。



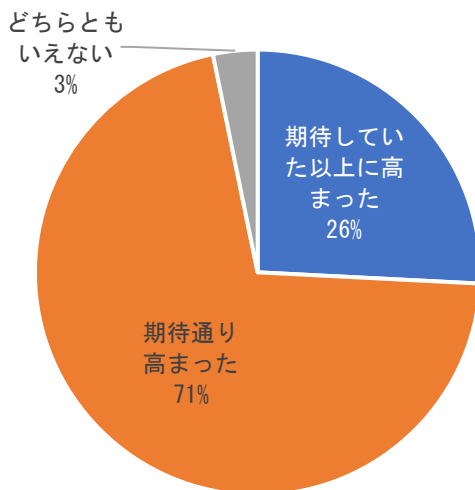
ク. 地球温暖化防止活動推進員の児童への対応や態度はどうでしたか？



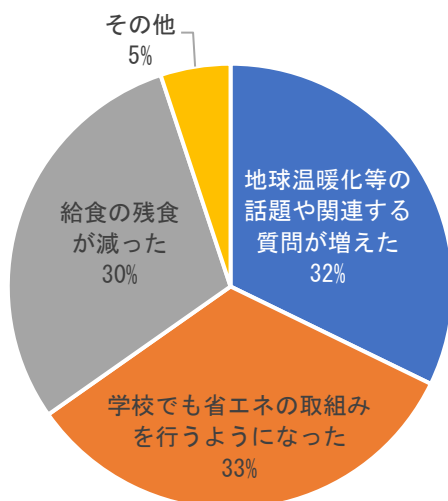
ケ. クについて、その他ご意見があればお聞かせください。

- ・知識について、最近の情報と違いがあり、児童が混乱する場面があった。
- ・子供たちからの質問に、ご自分の経験談を話されながら丁寧に対応されていた。次回もお願いしたい。
- ・4年生にとっては難しい内容もあったので、内容を精選してほしい。
- ・子供たちの質問にも丁寧に答えていただき、子供たちも関心を高めていた。
- ・大変おやさしく、どんな質問にも丁寧に答えていただきました。雪の季節になってしまい、寒い中を、手回し発電機等をたくさん借りて来て運搬してくださり、子供たちが体験を通して記憶に残る学びができました。
- ・児童が参加できる活動（クイズなど）を増やしていただけるといいです。
- ・コロナ対策により人数等によっては会場が大きくなるので、マイク等の設備が必要だと感じた。担当される推進員の方にご負担をかけないようにと思うので、次回からはどの推進委員の方が来られても、マイクを準備したい。
- ・パワーポイントや実物等、たくさん準備をしていただき、丁寧に授業をしてくださった。しかし、本学級の児童には、少し内容が難しかったようで、理解に苦しんでいた。もう少し、簡単な内容や言葉であれば、よりよかったと思う。
- ・子供に親しみやすい話し方で、わかりやすく伝えていただいた。
- ・推進員は、たくさんのお話を教えてくださったが、内容が若干小学4年生にしては難しいところがあった。
- ・児童の実態や学習の進捗状況に合わせて、授業をしていただけたので大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・富山県でも平均気温が上がっていることや、桜の開花時期が早くなっていることなど、県内に見られる具体的な事例があったことで、自分たちの地域にも影響が出ていることを知ることができたのではないかと思う。
- ・お話していただける内容が多かったこともあり、推進員のお話だけで1時間進んでいったように感じた。せっかく準備いただいた資料なので、子供たちがじっくり読み取る時間があればよかった。また、子供たちの生活経験などを伝え合う場をつくることで、より地球温暖化を自分事として捉えることができたと思う。
- ・4年生でも、環境問題についての内容によっては理解しにくいところがあるので、用語などを噛み砕いてわかりやすく教えていただけると大変ありがたい。
- ・話を聞いたかの確認のために、手を挙げさせる行為が何回もあった。そのため途中で子供たちの集中が途切れる場面があった。
- ・最初の授業の際、パワーポイントで作られた資料の中に、子供たちが学習していない字があり、子供たちが読めなかったため、後期の授業の打合せの時に、ふりがなをふるようお願いすると、対応してくださいました。来年度に向けて、すべての漢字にふりがながあると、子供たちは、資料が見やすいと思います。
- ・授業を対話型にしてほしかった。
- ・マイクを用意し、それを使って話をしてくださったが、話す声が小さく聞き取りにくかった。後期の結果集計の紹介では、用意されたスライドは過去の他校のもので、本校とは全く関係のないものを映し出され、言葉でだけ本校の子供たちの取組みを説明された。

コ. 授業やチャレンジ10の取組みを通じて、児童の地球温暖化等環境問題への関心は高まったと思いますか。



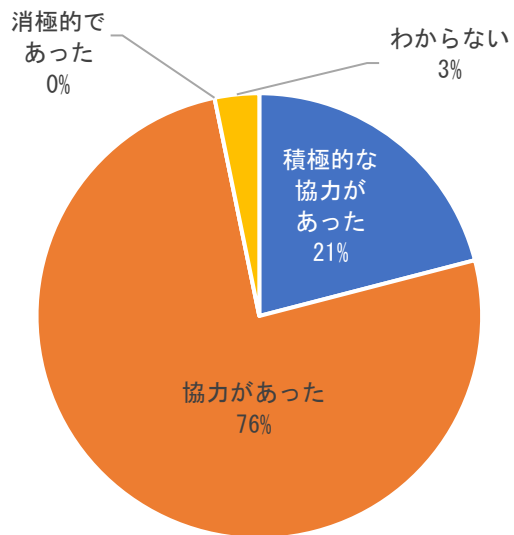
サ. 具体的な変化の内容を教えてください (複数選択可)。



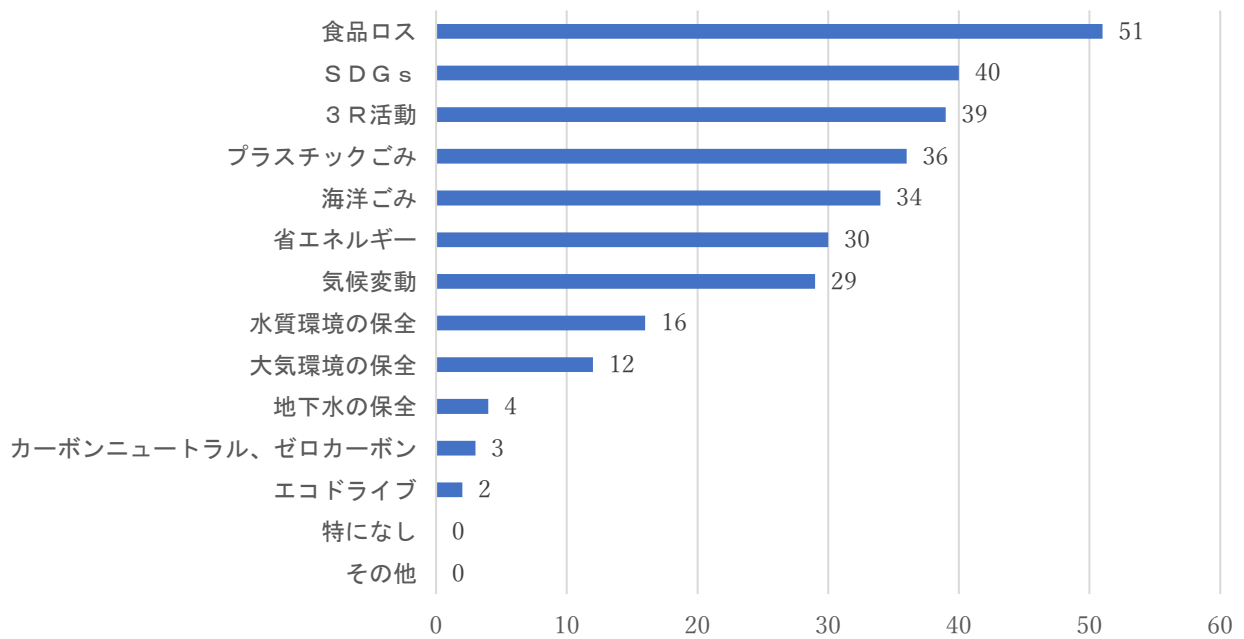
「その他」の内訳

- ・総合的な学習へのつながりがスムーズになり、関心が高まった。
- ・環境問題への知識が深まった。
- ・使用済みの紙やペットボトルキャップを集めたりしている。(ごみを減らすため)
- ・他学年へも知らせたいという子供の思いをもとに、啓発活動に取り組んだ。
- ・チャレンジ教室後も取り組んでいることを日記に書いてくる子供がいる。
- ・子供たちだけでなく、家族の方々が無駄のないくらしを実践しておられ、家での取組みを継続している声が聞かれます。

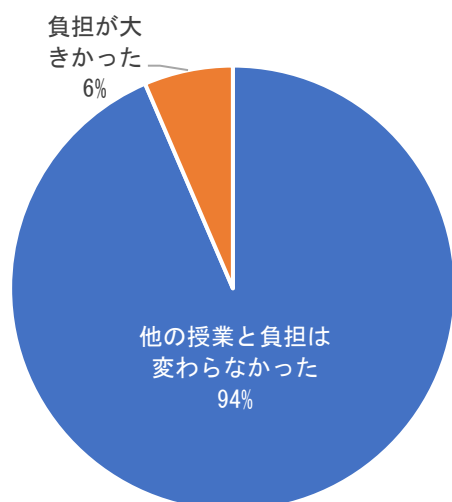
シ. 児童のご家族の反応はいかがでしたか。



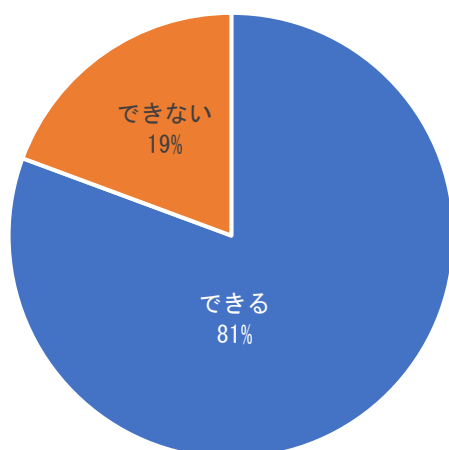
ス. チャレンジ10の授業で実施した内容も含めて、関心がある環境分野にチェックを入れてください(複数選択可)。



セ. とやま環境チャレンジ10の準備や実施について、学校（担当教諭）の負担はいかがでしたか。



ソ. とりくみノートなどの紙媒体を Google フォームなどの電子媒体に変更した場合、学校（担当教諭）で児童の入力の補助等を行うことはできますか。



③地球温暖化防止活動推進員について

ア. 今後、貴校において、環境に関する授業(とやま環境チャレンジ 10 以外)を行う際に、地球温暖化防止活動推進員を講師として活用したいと思われましたか。

